



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島山陽学園新体育館	階数	地上3F
建設地	広島県広島市西区	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	1,270 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,340 時間/年(想定値)
建物用途	学校、高等学校(体育館)	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2018年2月20日
敷地面積	33,075 m ²	作成者	北川美保
建築面積	2,417 m ²	確認日	2018年2月20日
延床面積	4,676 m ²	確認者	吉川均



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 2.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.4

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 2.5	スコア = 1.8	スコア = 2.7
設計の計画上特段に配慮した事項 モデル建物法計算結果により、BPI m = 0.79のため // モデル建物法により、BEI m = 0.93のため // // [BEI][BEI m] = 0.93	設計の計画上特段に配慮した事項 / 全校生徒の駐輪場と来客・管理者用駐車場を整備している。	設計の計画上特段に配慮した事項 給水、排水配管は各所にPSを設け、更新しやすい施設としている。 / 給水、排水配管は各所にPSを設け、更新しやすい施設としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される